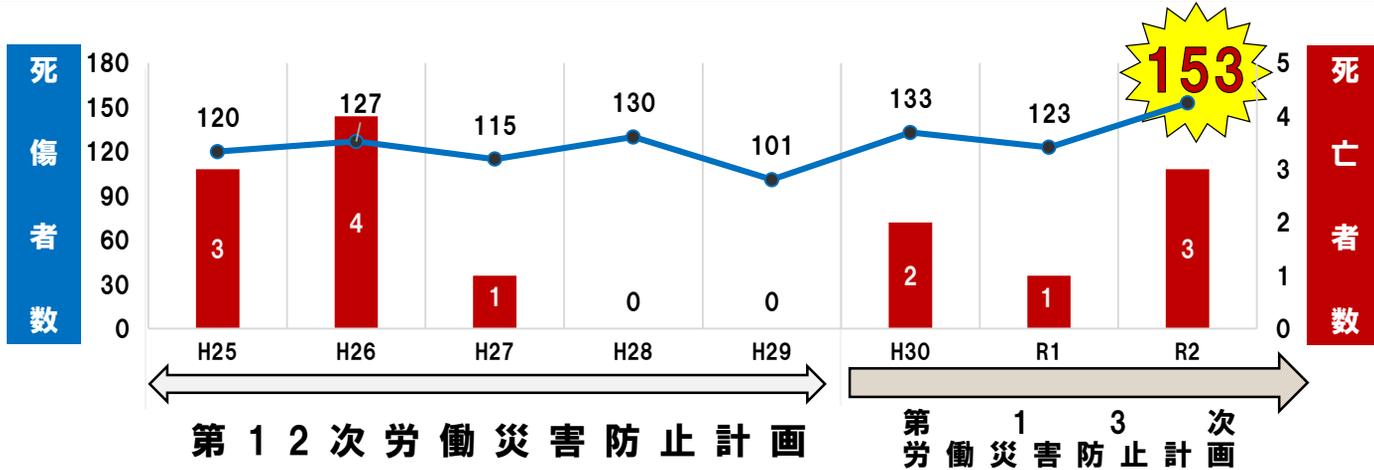
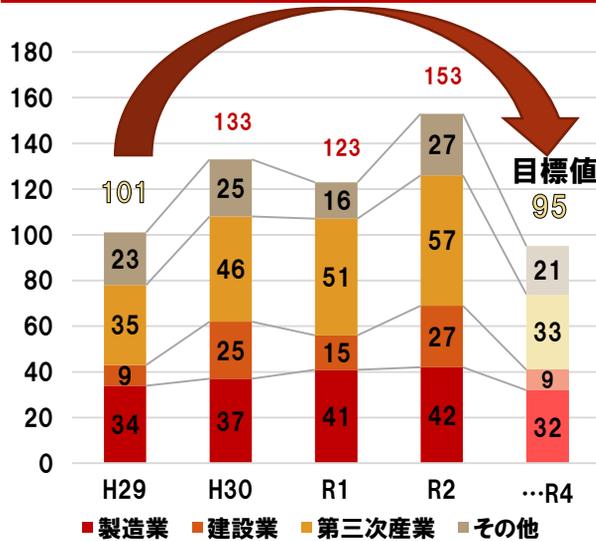


須賀川労働基準監督署管内の労働災害発生状況



令和2年の死傷者数は平成29年に比べ52人(51.5%)の増加し、平成25年から現在までで**過去最多**の人数となった。また、**3件の死亡労働災害が発生した**。

業種別の労働災害発生状況



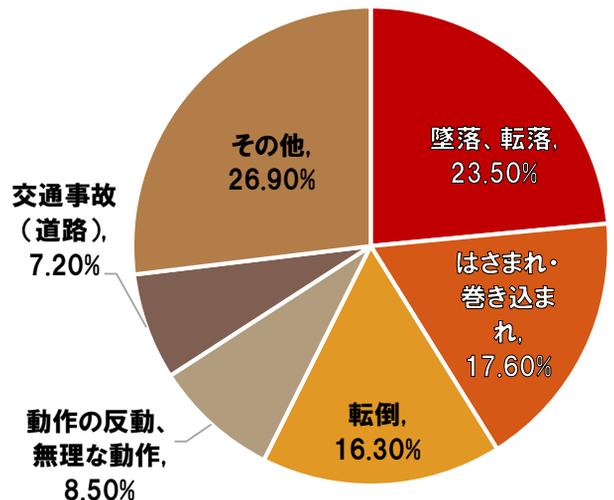
令和2年 業種別労働災害のポイント

- 建設業の死傷者数が平成29年と比較して18人増加した。
- 第三次産業の死傷者数が平成29年と22人増加した。
- 第三次産業の内訳として、商業の死傷者数が増加(H29:16人⇒R2:26人)した。
- また、平成29年に災害していなかった通信業(4人発生)やその他の事業(4人発生)などの業種においても災害が発生した。

事故の型別の労働災害発生状況

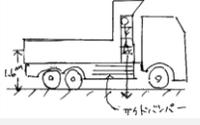
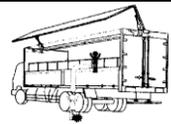
令和2年 事故の型別労働災害のポイント

- 「墜落、転落」による災害が最も多く発生した。
- 平成29年と比較して、大幅増加(H29:10人⇒R2:36人)となった。
- トラック等の荷台からの墜落や昇降時にステップを踏み外して転落などの事案が業種横断的に発生した。

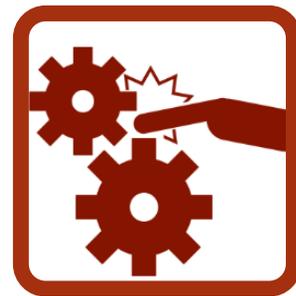


トラック等を起因物とする災害は平均で約2か月の休業が見込まれ、ほとんどが骨折となっていた。

トラックを起因物とする「墜落、転落」による災害(抜粋)

| 発生月 | 業種 | 年齢 | 災害発生状況等 | | |
|-----|-----|----|--|------|---|
| | | | 災害発生状況 | 休業見込 | |
| 1月 | 製造 | 46 | ダンプカーの修理箇所を確認するため、ステップを昇っていたところ、右手が滑り、高さ1.6mから転落した。 | 3月 |  |
| 1月 | 商業 | 59 | 燃料をタンクローリーに充填する作業をあおりに乗って行っていたところ、足を滑らせて墜落した。 | 60日 |  |
| 7月 | 運輸 | 55 | 顧客先で積み込んだ荷物の養生作業中、約5cmメートル幅のトラックあおりの縁に乗って緩衝材を差し込む作業を行っていたところ、バランスを崩して落下した。 | 4月 |  |
| 9月 | 運輸 | 43 | 倉庫内荷卸しゲートを開けるため、開閉リモコンを片手に持ったままトラック運転席から降車する際に、ステップを踏み外して約1mの高さから転落した。 | 2月 |  |
| 10月 | 建設 | 20 | 事業場敷地内で資材を下していたところ、トラックの荷台から足を滑らせて墜落した。 | 3週 |  |
| 10月 | その他 | 37 | トラック荷台の上で片付け作業をしていたところ、荷台の床で躓いて荷台から墜落した。 | 6週 |  |

- ・ 次いで、「はさまれ・巻き込まれ」による災害が多く発生した。
- ・ 平成29年と比較して大幅増加(H29:14人⇒R2:27人)となった。
- ・ このうち、約半数(14人)が製造業において発生していた。
- ・ 機械の運転を停止しないで作業を行ったことにより、被災した事案も認められた。



労働安全衛生規則第107条第1項(抜粋)

機械の掃除、給油、検査、修理または調整の作業を行う場合において、労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、機械の運転を停止しなければならない。

- ・ 「交通事故(道路)」も平成29年と比較して増加した(H29:4人⇒R2:11人)。
- ・ 令和2年に発生した死亡労働災害のうち、2件は交通労働災害によるものである。

| 発生月 | 業種 | 年齢 | 災害発生状況 |
|-----|----|----|--|
| 1月 | 商業 | 58 | 新聞配達のため県道をバイクで走行中、国道との交差点で、国道を右側から走行してきた軽乗用車と衝突した。 |
| 3月 | 建設 | 71 | 降雪の中、工事現場から帰社していたところ、運転していた自動車が道路を逸脱して、沢にトラックごと転落した。 |